

# 福岡共同 公文書館だより

Fukuoka Communal Archives

vol.23

令和6年3月  
March 2024



**TOPICS** / 日めくり公文書館..... 2～6 頁

- 所蔵資料のご紹介・施設見学会告知..... 7 頁
- 施設利用のご案内・ロビー展等のご案内..... 8 頁

# 日めくり公文書館

— 公文書館の出来事をご紹介します —

## 戦 常設展 戦後福岡のあゆみ 開催中！

7月31日（水）まで、常設展「戦後福岡のあゆみ」を開催しています。

福岡県の終戦から令和までのあゆみを、「終戦からの出発（昭和20年代）」、「高度経済成長期の福岡県（昭和30年代）」、「福岡県の発展（昭和40年代）」、「新たな時代へ（昭和50～60年代）」、「平成の福岡県（平成）」、「令和の福岡県（令和）」と章立てて、当館が所蔵する歴史公文書や行政資料を用いて紹介しています。

併せて、福岡県の市町村の変遷を、福岡地域・北九州地域・筑豊地域・筑後地域に分け、公文書・行政資料・パネルを用いて紹介しています。

また、前回の常設展から実施した福岡県内の市町村の紹介について、今期は、うきは市・宇美町・大川市・大木町・大任町・大野城市にスポットを当て、公文書と行政資料等で紹介します。

※次回の企画展は、8月下旬からの開催を予定しています。

## ☆常設展の様子☆



## ブ 市町村紹介 ログで紹介！市町村！

当館HPにて、県内58市町村（政令市除く）について、公文書等を活用して、順次ご紹介しています。

今年度は、赤村・朝倉市・芦屋町・糸田町・中間市・大野城市・八女市・春日市・うきは市について、掲載させていただいております（1月28日現在）。

今後も引き続き、ブログをアップしますので、ぜひご覧ください！

### 公文書でめぐるふるさと福岡 ～春日市～

Twitter Facebook Google+ はてブ Pocket LINE

春日市は東西4キロメートル、南北5.34キロメートル、面積が14.15平方キロメートルと非常にコンパクトで、福岡都市圏のほぼ中央部に位置しています。福岡市の中心部まで約10キロメートルという便利なロケーションで、そのため昭和40年代以降、福岡都市圏の住宅都市としての魅力を発揮してきました。

春日市は一昨年（令和4年）市制施行50周年を迎えました。今回は、前身である「春日町」の誕生から現在までの歴史の中で注目しておきたい文書を少し紹介します。

明治22（1889）年、春日、上白水、下白水、小倉、須玖の5村が合併し、春日市の前身である「春日村」が誕生しました。

その後、昭和28（1953）年に町制施行により「春日町」となります。

▲春日市紹介ブログの一部



# 日めくり公文書館

— 公文書館の出来事をご紹介します —

公

施設見学会

文書館の裏側お見せします！

令和5年8月5日（土）・9月12日（火）に、施設見学会を開催し、両日併せて29名の方にご参加いただきました。当日は当館の概要をDVDで紹介し、通常、入ることのできないバックヤードを含め館内をご案内した後、企画展「福岡県 市町村の変遷」の展示解説を行いました。

令和6年度も引き続き、施設見学会を開催しますので、ぜひご参加ください。



▲製本補修室の様子



▲文書保存庫の様子



▲展示室の様子

是

施設見学

非お立ち寄りください！

令和5年9月8日（金）、筑紫野市の二日市コミュニティセンター・二日市コミュニティ運営協議会の共催講座「いきいき・わくわくウォーキング」において、当館を立ち寄り地点に設定していただき、企画展・ロビー展・閲覧室を見学していただきました。

参加者の方から「公文書館がどのような施設か理解できた」という声をいただいた一方、「前は通るけど、中には入ったことはなかった」、「施設に入っていいのかわからなかった」という声をいただき、入館しやすい雰囲気づくりが大切だなと実感しました。

今回のウォーキング企画のように、立ち寄りや休憩にも利用できますので、お気軽に当館にお越しください。



▲閲覧室の様子



▲展示室の様子

# 日めくり公文書館

— 公文書館の出来事をご紹介します —

## 公 インターンシップ報告 文書館のお仕事ってどんなもの!?

令和5年8月1日(火)～8月5日(土)の5日間、福岡県内の大学生2名が公文書館業務を体験しました。

今回お二人には、公文書館のルーティンワークに加え、企画展期間中に実施した当館の「施設見学会」の際、見学者の方の受付を行っていただきました。

どの業務に対しても真摯に臨まれ、実りあるインターンシップになったのではないのでしょうか。

### ▼スケジュール表

		研修内容
8月1日(火) 1日目	AM	・オリエンテーション ・行政資料登録 ・ラベル貼り
	PM	・行政資料配架作業 ・有害生物モニタリング ・箱開け作業
8月2日(水) 2日目	AM	・公文書選別作業
	PM	・公文書紹介文作成 ・模擬選別会議
8月3日(木) 3日目	AM	・公文書保存庫返却作業
	PM	・公文書複写(スキャン)作業
8月4日(金) 4日目	AM	・利用審査会 ・審査調書作成
	PM	・審査調書作成 ・審査調書報告
8月5日(土) 5日目	AM	・行政資料(広報誌)入力・整理作業 ・施設見学会受付
	PM	・筑紫野市公共施設見学 ・座談会 ・インターンシップ体験記作成

### ▼行政資料登録作業の様子



### ▼審査調書作成の様子



## インターンシップ報告

「私が今回のインターンシップの中で特に印象に残っているのは、県や市町村から公文書館に届いた公文書を館にて保存するかどうかを判断する作業を行ったことです。公文書館では公文書を保存するべきかどうか決定するための基準を非常に詳細に設けており、その細かな基準に照らして公文書を一つ一つ読み解いていく作業は大変難しかったです。それだけ公文書を保存するのかどうかという判断は重要で、慎重に行う必要があるのだと感じました。そして公文書館の方々が実際に検討を重ねる様子を目にし、職員の方が日々真剣に業務に取り組むことで公文書館の役割が実際に果たされているのだと実感しました。」

(九州大学法学部3年)

「文書を保存すべきか、基準に基づいて選別する業務や、文書の閲覧を希望する利用申請に対して公開できない箇所を審査する作業では、判断力が必要だと感じました。また文書を扱う中で、とても古くもろい資料もあったため、同時に慎重さも求められました。五日間のインターンシップを通して行った業務のほとんどは間違えることのできない重要なものでした。実際に仕事を請け負う緊張感や、職員の方々がおられる場所の空気感なども感じられたことも含め、非常に有意義に過ごさせていただいたと思います。」

(福岡女子大学国際文理学部3年)

# 日めくり公文書館

— 公文書館の出来事をご紹介します —

## 体験！職場体験学習 公文書館のお仕事！

令和6年2月7日（水）から2日間、筑紫野市立筑紫野南中学校の2年生3名が公文書館業務を体験しました。コロナ禍では、実施ができていませんでしたので、久しぶりの職場体験学習となりました。

生徒たちは慣れない環境での活動のため、当初は少々不安な面持ちでした。しかし、活動していくうちに、不安が解消されたのか、積極的に、仕事に取り組んでいくようになりました。

特に、筑紫野を紹介する壁新聞を作成するプログラムについては、こちらが提案したレイアウト案をそのまま採用するのではなく、生徒自身でレイアウトを考え、皆で協力し、壁新聞を作成していました。

今回の職場体験学習を通して、公文書館とはどのような施設であるかを知ってもらうとともに、生徒たちの職業選択の視野を広げる機会となればと思っています。

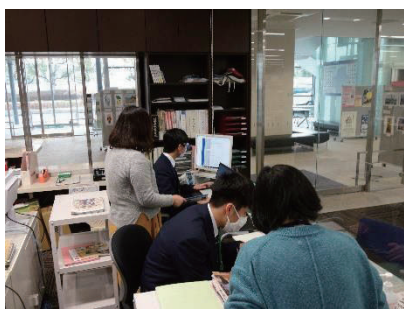
		研修内容
2月7日(水) 1日目	AM	・オリエンテーション ・行政資料整理配架業務
	PM	・行政資料整理配架業務 ・壁新聞作成準備 ・スキャニング説明
2月8日(木) 2日目	AM	・有害生物モニタリング ・壁新聞作成
	PM	・壁新聞作成 ・文書返却作業 ・壁新聞発表 ・職員へのインタビュー ・感想文記載

## 生徒の感想

今回、職場体験学習で公文書館に割り当てられた時、正直僕は「公文書館ってどこ？」と思いました。精神的にも物理的にも暗そうなイメージでしたが、行ってみると最新式の設備があり、仕事も面白く、手入れがされていて、驚きました。職場の人も明るく、楽しそうでした。

公文書館なんて名前からして、お堅いイメージがありました。なので、かなり緊張していましたが、実際はイメージとは違って何回も言っている気がします。本当にユニークで楽しい職場体験となりました。おかげで社会に少し安心のイメージを持つことができました。

仕事についてですけど、これも意外と思ったんですけど地味な作業が多く感じました。難しそうな作業も意外と簡単だったり、面白かったりして楽しかったです。でもいっぱい動くので疲れました。最後に公文書館の皆さんは体に気をつけてください。



▲行政資料整理の様子



▲壁新聞作成の様子



▲インタビューの様子



# 日めくり公文書館

— 公文書館の出来事をご紹介します —

お

出張展示事業

いでよ！福岡共同公文書館へ ～館外展示～

多くの方に「福岡共同公文書館」を知っていただくため、当館では、「おいでよ！福岡共同公文書館へ」と題し、出張展示を実施しています。

今年度は、公文書館だより vol. 22 でご紹介した春日市役所、大刀洗ドリームセンター、アクロス福岡に加え、みやこ町サン・グレートみやこ、篠栗町中央公民館、志免町役場、県庁1階ロビー、福岡よかもんひろば、アザレアホール須恵で出張展示を実施させていただきました。

今後も、公共施設のギャラリー等をお借りして、県内の地域を巡る予定です。

## ☆あなたの街へ出張展示☆



▲みやこ町サン・グレートみやこ  
期間：8/17（木）～8/29（火）



▲クリエイト篠栗  
期間：10/17（火）～11/1（水）



▲志免町役場  
期間：11/1（水）～11/14（火）



▲福岡県庁  
期間：12/11（月）～12/15（金）

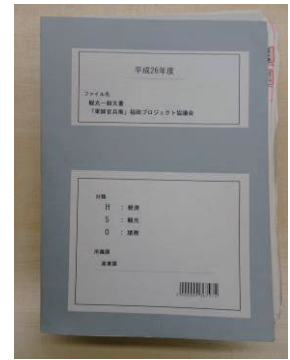


▲ふくおかよかもん広場（福岡県庁内）  
期間：2/2（金）～2/16（金）



▲アザレアホール須恵  
期間：2/16（金）～3/1（金）

# 所 蔵 資 料 の ご 紹 介



## 軍師官兵衛福岡 プロジェクト協議会

▲観光一般文書  
「軍師官兵衛」福岡プロジェクト協議会  
(1-2-0033880)

毎年、その題材が注目を浴びるNHK大河ドラマ。本年は、源氏物語の作者である、紫式部を題材とした大河ドラマ「光る君へ」が放送されており、好評を得ているようです。

その大河ドラマで、福岡県とゆかりのある戦国武将、黒田孝高（官兵衛）を題材とした「軍師官兵衛」が、平成26年に放映されました。大河ドラマとしては、53作目のことでした。

本県にゆかりがある題材としては、平成13年に放映された「北条時宗」以来とあって、県内各所で関連行事が催され、官兵衛ブームに沸いていたことが思い出されます。

今回は大河ドラマ「軍師官兵衛」にちなんで、官兵衛ゆかりの地である、みやこ町から移管された公

文書を紹介します。こちらの公文書は「軍師官兵衛」福岡プロジェクト協議会及び構成自治体である、みやこ町の活動内容をまとめている事績です。

本協議会は、「軍師官兵衛」放映を契機に、福岡県内全域の観光振興を図るため、県と県内市町村とが連携・協働し、大河ドラマ放映の効果を最大限に発揮し、観光客誘致を促進することを目的に、平成25年4月9日に設立されました。メンバーは、福岡県知事をトップに産学官で構成されており、本県全体で官兵衛ブームの機運醸成を図ろうとしていたことがうかがえます。

本協議会では、本県が官兵衛ゆかりの地であることを県内外にPRするため、マスコットキャラクターとして「ふくおか官兵衛くん」を作成するとともに、東京都や大阪府を始めとする県内外の多くのイベントに参加し、PR活動を行いました。

また、日本航空とのタイアップ事業であるJALジャパンプロジェクトや、JR西日本とのタイアップ事業である黒田官兵衛スタンプラリー等、民間企業と協働で観光客誘致を図りました。このほか多方面で事業を実施しましたが、紙幅の関係上、紹介は割愛させていただきます。

一方、みやこ町では、町主催イベントである、「よつてこ犀祭りみやこ」で「こども官兵衛隊」を

結成しPRしたことや、官兵衛及び、その最大の宿敵と称され、みやこ町にゆかりのある、宇都宮鎮房それぞれの幟を作成し、町内各所に設置しています。

また、地元有志の協力のもと、官兵衛が居城した馬ヶ岳の登山道を整備し、観光客の方に官兵衛が見渡したであろうみやこ平野を眺めていただけたようです。

特に、例年開催されている、みやこ町愛郷音楽祭では、東京藝術大学O.B.地元コーラス団体・神楽団体・育徳館高校管弦楽部・浄瑠璃団体とともに、馬ヶ岳入城後の官兵衛にスポットを当てた神楽オペラ「心は水の如く清し」を上演し、地域が一丸となって官兵衛の魅力を発信しています

本公文書では、福岡プロジェクト協議会による取り組みや、みやこ町の取り組みのほか、本協議会構成自治体の取り組み等についてもまとめられおり、頁をめくると当時の熱量がひしひしと伝わって来るように感じます。大河ドラマ放映の裏で、観光客誘致にむけ、福岡県下でどのような取り組みがなされていたか、一度手に取ってご覧になられてはいかがでしょうか。

(総務企画班 事務主査  
田中 希美雄)

## 令和6年度施設見学会告知！

令和6年度についても引き続き、施設見学会の開催を予定しています。

施設見学会では、バックヤード等を紹介するとともに、企画展開催期間中は、企画展の展示解説を併せて行います。

詳細については、当館HP、次号当館だより、市町村広報誌等でご案内いたします。

※施設見学会以外でも、随時、視察・施設見学の受け入れを行っています。

希望されるかたは当館までご連絡ください。

# 会議室・研修室利用のご案内

## 会議室・研修室を利用できます！

福岡共同公文書館では、会議室・研修室を有料で貸し出しています（要事前申込み）。

施設の収容人数や利用料金は下記をご参照ください。

- 会議室は、少人数の会議やサークル活動にご利用いただけます。
- 研修室は、音響・映像システムを備え、90名まで収容できるため、講演会や講習などにご利用いただけます。（駐車スペースが豊富です。）
- 目的によっては、ご利用いただけない場合があります。

	収容人数	面積	金額（1時間につき）
会議室	16名	58㎡	400円
研修室	90名	171㎡	1,180円

会議室・研修室を利用される場合は、日程の空き状況の確認や附属設備の利用等、お電話で事前にお問い合わせいただくと、スムーズにご案内できます。

申請書は、当館のHP（「利用案内」）からダウンロードしてご提出ください。

## 冷暖房費無料!!



▲研修室



▲会議室

※その他詳細の情報については、当館 HP をご参照ください。

# ロビー展等のご案内

日頃から当館をご利用いただいている、特定非営利活動法人福岡鉄道史料保存会の皆さんが、当館の公文書等を活用し、ロビー展を開催します。皆様お誘い合わせの上、ご来館ください。

また、5月中旬頃に、同保存会による、展示に関連した講演会も開催します。こちらにつきましても、ご参加をお待ちしております。

- ・期 間 令和6年4月2日～令和6年9月29日
- ・タイトル 「二日市・大宰府をめぐる鉄道交通の発達史  
～天神大牟田線開業 100 周年を記念して～」

【問い合わせ先】特定非営利活動法人福岡鉄道史料保存会 平田

Mail:hirata\_t@bj8.so-net.ne.jp

## 福岡共同公文書館

〒818-0041  
福岡県筑紫野市上古賀 1-3-1

電話 092-919-6166

FAX 092-919-6168

JR

西鉄

車

## 交通アクセス

- 「二日市駅」下車徒歩約13分または西鉄バス「警察署前」バス停より徒歩約1分
- 「二日市」下車西鉄バス「警察署前」バス停より徒歩約1分
- 九州自動車道「筑紫野インター」より約5分



福岡共同公文書館には宝くじの収益金が活用されています。

